## 令和4年度アクションプラン実施計画(案)

令和 4 年 2 月 24 日

志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会事務局

基本方針	テーマ	分類	実施時期	アクションプラン	R4年度実施内容(案)
1	I.水源地域の景観形成	1. 水源地域の景観向上	早期	河川と道路の景観保全活動	<ol> <li>志々の景観を守り育てる会による除草(継続)</li> <li>企業CSRの継続</li> <li>地元団体への声かけやボランティア等の協力要請</li> </ol>
			早期	クリーンウォーク(景観保全活動に含む)	1. 企業CSRの中で実施を継続
			早期	草刈り研修会(景観保全活動に含む)	1. 男女が参加できる研修会を実施   2. 研修を受ける機会づくり(情報提供など)
· 美				町有林による景観美化	環境学習の場の運営方法の検討及び整備に必要な事項を整理
l î		2. 牧歌的な風景づくり	中期	家畜の放牧	イベント時のヤギ、羊の放牧に向けた検討、調整
ふ		3. 四季の彩りフラワーバレー	後期	夏の花の花壇整備による年間を通じた花畑の創出 フラワーバレーに山野草鑑賞エリアを整備	1. ヒマワリの植栽の継続 山野草を管理している他の施設の事例調査
るさとづくり			後期	フラブーハレーに山野早延貝エリアを笠浦	山野草を管理している他の他設の事例調査 1. 彩りの森のライトアップ
			早期	彩りの森の紅葉をライトアップ	2. 紀年
			後期	一軒一鉢運動を展開	1. 水源地域へのゲートづくりと合わせて実施を検討
	Ⅱ. 自然環境 の保全活用	4. 神戸川エコロジカルネットワーク	早期	子供向け環境学習会の実施 ・水生生物による簡易水質調査の実施 ・自然観察会 ・山の恵み学習会	1. ヤマメの生育調査にあわせ、流域住民と交流ができる行事を企画 2. 川遊びをしながら学ぶような企画を検討
			早期	水辺で遊べる場づくり(既存施設の活用)	1. 水辺利用者との意見交換会の継続 2. 河床整備、除草等適正な管理を行う
2.明るく元気で豊かな	Ⅲ.水源地域の活性化	5. 神戸川「川の駅」づくり	早期	青空市の活性化	1. 販売コーナーの商品を充実させる 2. 加工品の種類の充実を図る
			中期	憩いの場の充実	1. 「志々さくら広場」を町内外の憩いの場として活用
			中期	特産品の開発	1. 地区の「お土産」となる加工品の開発 2. これまでの成果を活用した特産品の通年販売
		6. 地域コミュニティーの強化	早期	地域懇親会の開催	1. 地区全員が出られる機会をつくる 2. 取組に対する情報共有 3. ダム資源や素材(駐車場など)の有効活用を検討 4. 中年層の連帯感向上のきっかけ作り 5. ビジョンに向けた検討、策定
			中期	七夕祭り	1. 水辺で乾杯の継続(七タイベントとしての継続)
		7. 志津見湖のイメージアップ	早期	イメージキャラクターの活用(地域懇親会テーマ)	1. 地域懇談会で利用に対する議論を行う 2. 看板、広報物へ掲載しPRを行う 3. 「くにびきくん」の顔出しパネルの活用
		8. 自然に優しいエコ活動	中期	水源地域の自然に優しいエコ活動の展開	1. 伐採した樹木の活用を検討
	IV. 地域の有す る歴史文化 の継承	9. 伝えようふるさとの歴史と文化	早期	食文化伝承レシピの作成	1. 家庭の味まつりを引き続き開催する 2. 食文化伝承レシピの試行的提供機会の検討(イベント時など)
			後期	遺物の展示	1. さつき会館で通年展示を継続
			早期	民具の展示	1. うぐいす茶屋で通年展示を継続   2. イベント等での展示を検討
3.人が集まるふるさとづくり	V. 水源地域の PR	10. 水源地域の修景	中期	サインの設置による水源地域の明示	1. 助成金制度を活用し水源地域のPR用看板を設置や補修
			後期	草花・花木植栽による水源地域へのゲートづくり	1. うぐいす茶屋で展開しているプランターでの花の創出の継続、拡大 2. 案内看板の周りに花壇・プランターを設置し、草花・花木の植栽によって水源地域へのゲートを演出(イベント時での展開)
	VI・上下流の交流	11. 湖畔イベントの開催		ポピー祭・コスモス祭開催	1. ポピー祭/コスモス祭の開催(コスモス祭は、令和4年度で第30回の記念となるため、実施内容の工夫) 2. ダム見学会、巡視体験等引き続き実施
			後期	野外コンサート	ポピー祭/コスモス祭での実施
				ナイトバザール 志々ファンクラブ	若者や愛好家など「やりたい事」を実現するイベント企画を検討  1. 積極的な情報発信の実施 2. イベント日程の早期発信 3. 会員の具体化の検討を行う(若者や愛好家の参加促進)
			早期	シンボルオブジェ作り	シンボルオブジェによる地域の魅力向上
		12. 湖面イベントの開催	早期	湖面巡視体験	1. イベント以外で地元住民向けの体験会の開催2. 紅葉の時期の巡視体験の検討
			早期	カヌー教室(PTA対象)	全に 紅葉の時期の巡視体験の検討   実施場所の選定、湖面利用ルールの策定
			後期	カヌー教室(一般対象)	実施場所の選定、湖面利用ルールの策定
				魚釣り大会   ラジコンボートレース大会	実施場所の選定、湖面利用ルールの策定  1. ラジコンボート操縦体験の試行実施の継続
		13. 志々のみどころ紹介	中期	プンコンホートレース人会   手作り見どころ案内板	1. 案内板の内容充実や名称旧跡への案内板設置など追加設置や内容の見直し。
			早期	マップ(パンフレット)づくり (地域懇親会テーマ)	1. 八福神マップを活用した八福神めぐりイベントの展開と交流人口の拡大を目指す 2. PR方法の工夫(SNS、HPでのPRや、ウォーキング・サイクリングコースとしてのPR等)
			早期	フォトコンテストの開催	1. 年間を通した募集 2. 町内PRを強化(応募数減少への対策) 3. コンテスト入賞作品の展示機会の創出を検討
		14. 田舎ツーリズムの展開	中期	田舎体験	1. 獅子地区における田舎体験の継続 2. 田舎体験プログラムの他地区展開に取り組む
		15. 他地区との連携	中期	広域的な連携検討	1. 斐伊川下流域、尾原ダム地域との交流 2. 広域観光の結節点としての機能強化(情報提供など)

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からR4年度実施内容(案)を見直す場合がある。

## ■貯蔵酒

貯蔵本数:80本搬出 貯蔵期間:令和2年3月24日~令和3年10月5日 (令和2年10月12日40本搬出)





貯蔵状況:貯蔵期間中リムトンネル奥の温度 13.9~14.6(平均14.4度)と安定計測の結果、清酒の貯蔵に適した要件となっていた。

① 気 温 : 15度以下
 ② 気温変化 : ±3℃以下

## 島根県産業技術センター(10/26 持込み)において官能評価分析実施

## 飯南町ダム貯蔵酒官能評価

2021年11月4日

- ○試料 志津見ダム貯蔵 純米酒
- 〇官能評価者 大渡康夫 秋吉渚月
- ○官能評価結果 品質的に問題なし。
  - ・香りはやや落ち着いたなかにも果実様の香りあり
  - ・洋ナシやブドウの様な香りあり
  - ・甘味と酸味が主体、あとから苦味が来る
  - ・キレがあって渋さ感じ余韻あり
  - ・オリと沈殿あり

試行調査:本来であれば地域活性化評価のためイベントでの試飲や販売を行う予定としていたが、コロナウイルス感染拡大によりフラワーイベントが中止のため地域内、国交省、県、飯南町役場内にて販売